

## カリタスジャパン 能登地震災害緊急支援募金 ご報告 2026年5月

日頃から、カリタスジャパンの活動にご理解、ご協力をいただき、また、ともに歩んでくださり感謝申し上げます。

発災から2年と半年を迎える能登半島の被災地では、昨年の秋が過ぎる頃から、公費解体も急速に進みましたが、さらに個別の細なニーズへの寄り添いが重要となっています。これまでの復興フェーズの在り方から来る影響か、被災者の中にはボランティアを頼んでよいか迷い、遠慮される方も多いようなので、より一層丁寧な対応が求められます。また、産業としての農業や漁業、輪島塗の復活、そして健康維持や心理社会的サポートとしての土いじりや畑仕事などのニーズも出てきました。仮設住宅集会所や地域の神社でのイベントなども行われるようになり、多角的な支援の在り方が求められています。震災前も震災時も震災後も地域の人々とともに歩むカリタスの活動を、今後ともよろしくお願いたします。

カリタスジャパン事務局



### ■ 能登半島地震災害緊急支援募金 (1月～3月)

| 期間       | 募金額 (円)   | 募金件数 |
|----------|-----------|------|
| 1月1日～31日 | 2,489,164 | 101  |
| 2月1日～28日 | 1,590,297 | 55   |
| 3月1日～31日 | 3,495,921 | 35   |
| 計        | 7,575,382 | 191  |

### 2026年1-2026年3月募金・援助

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 募金額 | 7,575,382 円 (191 件) |
| 援助額 | 2,000,000 円 (1 件)   |

### ■ 援助額(10月～12月)

| 援助先               | 活動  | 援助額 (円)   |
|-------------------|---|-----------|
| NPO 法人<br>五ヶ瀬自然学校 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「希望の農園」事業</li> <li>-被災した高齢者の心身の健康回復を「家庭菜園の復活」を通じて図ることを目的とする。</li> <li>-土づくりに使用する資材として、災害により発生した木質瓦礫を活用し、炭素源としてすべて土壌再生に活かす。</li> <li>-自然界の糸状菌など繁殖させ、荒廃した田畑や庭先を「希望の農園」として再生させる。周辺にある落ち葉など、地域内の有機物資源も活用し、災害で発生した資源と自然由来の資材を組み合わせることで、地域循環型の土壌再生モデルを構築する。</li> <li>-整備後は地域住民が利用できる家庭菜園として開放し、高齢者が無理なく参加できる場とするをを目指す。仮に畑が一時的に放置されたとしても、畝内部で菌が増殖し、むしろ土壌環境が改善されるため、いつでも栽培を再開できる効果がある。</li> </ul> | 2,000,000 |
| 合計                |   | 2,000,000 |

## ■活動写真

### 棚田や祭り、工芸品の復活や畑の再生



能登の象徴的な千枚田が復活しました。

©カリタスジャパン



©カリタスのとサポートセンター

### 家庭菜園の復活

木質の瓦礫を利用した畑の再生が始まりました。自然由来の糸状菌などを繁殖させ、家庭菜園などに適した豊かな土壌へと改良して行きます。応急仮設住宅や在宅での避難生活を継続している方々の健康維持と、精神衛生のために利用していただきます。



### 縁日の復活

震災直後から地域の支援の拠点になっている輪島の重蔵神社で縁日が開かれました。地域ぐるみのイベント開催にカリタスのとサポートセンター輪島ベースも協力し、参加しています。

©カリタスのとサポートセンター



©カリタスのとサポートセンター

### 輪島塗の復活

震災後、輪島塗の工芸品も危機に瀕しています。工房が流されたり倒壊したりして、商品となる食器も流出したため、漆を塗る物が不足しています。

カリタスのとサポートセンターでは職人の方と連携して漆塗りの十字架を製作中です。

©カリタスのとサポートセンター



### 応急仮設住宅集会所のイベント

支援フェーズが移行し、輪島など全壊地域では多くの被災者の方々が応急仮設住宅で暮らしています。集会所でも様々なイベントが行われ、カリタスのとバンドのミニコンサートではリクエストもあり、皆さんと一緒に歌ったりしました。

### 募金について

郵便局の専用払込用紙（送金手数料カリタスジャパン負担）をご希望のかたは、電話（03-5632-4439）あるいはメール（[info@caritas.jp](mailto:info@caritas.jp)）にて事務局までご連絡ください。



引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。